

①について

ご指摘のメールのやり取りは承知しておりますが、2015年8月12日に受領したデータに2016年度分と認識されたデータがあったため、伊達市に確認したところ「そうである」とのことで解析を進めました。根拠はまさに伊達市の確認のみですが、当時の宮崎にとっては、伊達市に解析結果の蓋然性など含め、直接確認することが正しいデータを扱っているかどうかを確かめる唯一の手段でした。

②について

事実関係の整理と、JRP誌への申し出などを行っていたためです。

③について

実際には14,000人程度という数字について、実際を確かめる資格、データともに失われているため、「12,912」は引用可能な公式文書に記載され2014Q3の実際の人数にもっとも近いと思われた数字として提示しました（「12,011」と提示したのは誤りでありJRP誌に修正を求めています）。誤ったデータを使用した理由についても、宮崎、早野とも検証する材料、資格、成果のすべてをすでに失っており、お答えする術がありません。

④について

12,011という数字については、当方からの引用ミスということですのでJRP誌に修正を求めています。OutPlanet-TVからの指摘という点については、retraction noteの記載が「間違いに気付いたきっかけ」の文意ではないため、またthird-partyについてもその主体がDate Cityということは明白であるため、この2点につきましては当方からの修正依頼は控えさせていただきます。また、retraction noteはJRP誌が責任をもって作成し発行している文章のため、こちら側に編集権がないこともご承知おきください。